



記者発表資料	
平成28年7月1日	
担当課 (担当者)	気高町総合支所 地域振興課 橋本
電話(内線)	82-0011(86-210)

“芸術を生かしたまちづくりを進めます”

日本一小さい映画祭を主催する「ことり舎」と鳥取市・鳥取大学の共催で

「アート・映画による創造都市の実現シンポジウム」を開催します！

本市では、昨年9月に「鳥取市創生総合戦略」を策定し、「賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’」を柱の一つとして位置づけ、交流人口の拡大を図るため、文化芸術を生かした個性あるまちづくりの取り組みを進めています。

その一環として、気高地域で芸術のまちづくりに取り組んでいる団体「ことり舎」と鳥取市・鳥取大学の共催で、「アート・映画による創造都市の実現シンポジウム」を開催し、鳥取市という地域の特性を活かした映画による創造的な地域振興の可能性について討議します。

本シンポジウムには、京都(国際)映画祭、さぬき映画祭など数多くの映画祭の立ち上げや運営に関わる映画監督の中島貞夫氏、文化行政学者の鳥取大学野田邦弘教授、気高地域代表として池長綾子氏、深澤鳥取市長がパネリストとして参加します。

なお、シンポジウムは、鳥取大学地域学部の講義を兼ねての開催となります。

記

【日 時】 平成28年7月14日(木) 18:20分~20:30分

【場 所】 鳥取大学 地域学部芸術文化センターアートプラザ(定員:100名)
(鳥取市湖山町南4丁目101)

【プログラム】

18:20 正調貝殻節 演舞

18:30 シンポジウム (主な討議内容)

- ① 各地におけるアート・映画を利用した地域振興策について
- ② アートによる地域振興の優位性について、中でも映画の特性について
- ③ 鳥取市(気高町浜村地域)の抱える課題、その解決にアート・映画が果たす役割について

※浜村温泉湯けむり映画塾作品

「ようこそ浜村へ」、「幻の漁火」ダイジェスト映像・上映あり

- ・パネリスト

鳥取市長	深澤義彦氏
映画監督	中島貞夫氏
鳥取大学教授	野田邦弘氏
気高地域代表	池長綾子氏
- ・ナビゲーター

ことり舎代表	荒尾 極氏
--------	-------

20:10 質疑応答

- 【入場料】 無料
- 【対象者】 鳥取市民、行政関係者、鳥取大学学生・教職員など
- 【主催】 ことりり舎（「浜村温泉湯けむり映画塾」企画運営）
- 【共催】 鳥取市 鳥取大学地域学部 気高町観光協会
- 【後援】 公益財団法人鳥取市文化財団 新日本海新聞社
日本海ケーブルネットワーク 鳥取市西商工会
- 【協力】 鳥取大学地域学部芸術文化センター 鳥取県
- 【問い合わせ先】 ことりり舎（営業時間 10：00～18：00）
TEL 090-4820-6556
mail ketaka.art@gmail.com
または
鳥取市気高町総合支所地域振興課
TEL 0857-82-0011

【参考】

1. 「ことりり舎」の紹介

2014年3月設立。前身は、気高芸術のまちづくり委員会（2012年11月設立）。代表の荒尾 極氏は、2011年に夫婦で父親の生家であった鳥取市気高町に移り住んだ1ターナー者。

芸術活動による地域の魅力発信、地域間交流、観光客や作家の誘致などを通じて、地域活性化を図ることを目的として「ことりり舎」を設立。2014年から「浜村温泉 湯けむり映画塾」を開塾。今年で3年目。

「ことりり」とは、核や心臓を意味するラテン語の「こる」と鳥取の「とり」を組み合わせた造語。



芸術活動の拠点となる「ことりり舎」

2. 浜村温泉湯けむり映画塾作品の紹介

（2014 作品） 「ようこそ浜村へ」

浜村温泉街に現れた幽霊がかつての温泉街のようにぎわいをもたらそうと、浜村温泉が発祥と言われる貝殻節で人を集めるというコメディータッチのストーリー。

（2015 作品） 「幻の漁火」

気高町日光地区に伝わる竜神伝説をモチーフに、家族愛を描いたサスペンスタッチのストーリー。（スペシャルゲストとして火野正平さんが出演）

（2016 作品） 「祭りの産声」（仮題）

平成28年度は「浜村温泉湯けむり映画塾」が3回目を迎える。今年度の作品は『祭りの産声』（仮題）で、貝殻節そのものにスポットを当て、「貝殻節」が持つ魅力・真意に迫る。